



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す学校像：「あいさつ がまん あとしまつ ができる生徒」

村上市立荒川中学校
令和3年度第2号
令和3年5月14日発行

母校を大切に思う心、地域を大切に思う心

校長 渡辺 安治

さわやかな風が心地よい季節となりました。山々の緑も鮮やかです。学校生活では生徒主体の活動も本格的に始まりました。各学年の学年委員が、毎週学年朝会を運営しています。初めての学年朝会では、学年の目指すべき姿とそのために学年委員として、自分はどうのように活動するかを語ってくれました。生徒会の各専門委員会は全校生徒が規則正しく、気持ちよく生活できるように、安全で衛生的な環境で生活できるように、活動しています。あいさつ運動、健康観察、昼の放送、水飲み場清掃、図書室の開館など、学級や全校生徒のために意欲的です。

先日、我が校の卒業生である富樫一成様が来校されました。胎内市を中心に仕事をされている方で、我が校のSDGsを基盤とした地域連携活動について詳しく聞きたいということでした。全学年が総合的な学習の時間でSDGsに取り組んでいること、地域の多くの方々から支援いただいていること等をお伝えしました。富樫様は母校のことを常に気にかけてくださっており「荒中生徒の頑張りは励みになり、うれしいです。」と喜んでおられました。

四月二十九日には毎年恒例の「荒川クリーン作戦」が実施されました。あいにくの天候でしたが、多くの

団体、個人の参加者がありました。参加した生徒の感想を紹介します。「SDGsで学んだことを生かして、荒川をよりきれいにして人々に来てもらいたい。プラスチックゴミなどを減らして、魚たちが住みやすい環境を作りたいと思い、天気が悪かったけれど参加した。主催者の方から感謝され、とてもうれしかった。」総合的な学習の時間で学んだことを生かし、自ら考え、『今できる行動』に移すという、すばらしい学習の成果を感じました。

村上市内では、新型コロナウイルス感染症が依然として発症しています。発症された方々の一日も早い回復をお祈りします。保護者の皆様には、お子様の健康管理に細心の注意を払っていただき、感謝いたします。ご家庭内での消毒をはじめ、食事・睡眠など、ご配慮いただき、ありがとうございます。部活動の対外試合が自粛になり、連休中の活動も十分ではありませんでした。このことは、村上市岩船郡内の全ての中学校で感染症対策として実施されています。感染症が収束することをお願い、授業に真剣に取り組むなど、生徒も「今できること」をしっかり行っています。地域の皆様、保護者の皆様、今後ともどうぞよろしくお願います。（裏面に今年度のグラウンドデザインを掲載しました）

